

★市民の手によるアカデミー運営をめざして
特定非営利活動法人かわさき市民アカデミー理事長
藤嶋 昭 (東京理科大学学長)



かわさき市民アカデミーは、市民の皆さまに生涯にわたる学習を通じて生きがいのある人生を支援する場を提供してきました。20年の歴史を持ち、年間受講者数6,000人が学ぶアカデミーは川崎市が全国に誇れる市民大学だと思っています。かわさき市民アカデミーは2011年からNPO法人として市民による自主運営に変わりました。これからは市民・関係者の皆さまのご意見をお聴きしながら、よりよい市民大学にすべく努めてまいりたいと思っています。

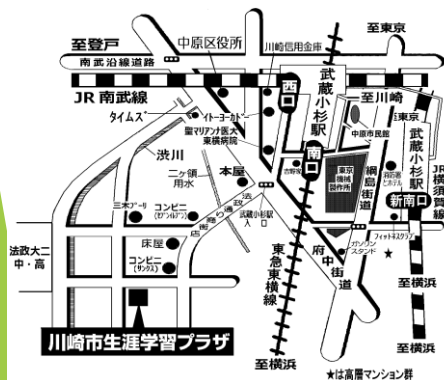
★知識や考え方・人間関係の広がり大切にしています
かわさき市民アカデミー学長
太田 猛彦 (東京大学名誉教授)



かわさき市民アカデミーは、めまぐるしく変化する世の中にあって、じっくり考え、学ぶことのできる場。最新の専門知識の得られる生涯学習の場を作りたいという願いから出発しました。今日では、学習を通して知識・考え方の深まりや人間関係のつながり、広がりを実感できる「場」がすでに形成されていると考えています。かわさき市民アカデミーは、これからも(公財)川崎市生涯学習財団や受講生との協働の中で、川崎市の新しい文化を築いて行くものと信じています。



事務局所在地、講座開催場所



事務局開室日：月曜～金曜・8:45～16:45
(土曜講座実施日のみ土曜も開室)

〒211-0064
川崎市中区今井南町514-1
川崎市生涯学習プラザ3F
TEL 044-733-5590
FAX 044-722-5761
問合せ用メールアドレス info@npoacademy.jp
ホームページ http://npoacademy.jp/

講座開催場所
・川崎市生涯学習プラザ
・新百合21ビル地下2階
・高津市民館NOCTY2
・ミューザ川崎市民交流室



かわさき市民アカデミー KAWASAKI

お便り2

誰でも参加できる市民のための市民大学

かわさき市民アカデミーでは幅広い分野の講座を春(4月初旬から7月)と秋(10月初旬から2月)の2期に分けて開講しています。この4月からはいよいよ2014年前期の講座が始まります。誰でも参加できる市民のための市民大学として年齢性別問わず幅広い方々の要求を満たす多岐にわたる分野の講座を準備しています。

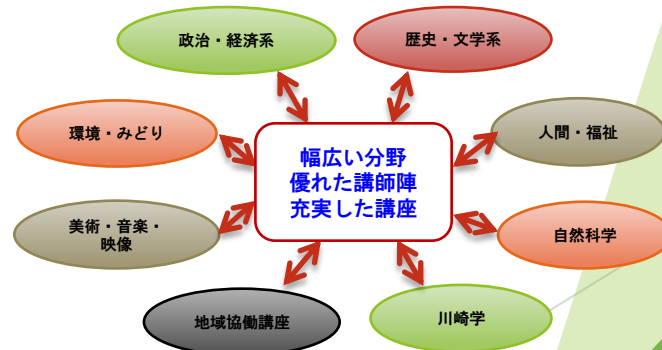
また、アカデミーは座学による講座ばかりでなく、野外実習、受講生の自主性を重視したゼミ形式、見て聴いて気楽に楽しむことのできる講座など多くの講座が準備されています。

◆学ぶ喜び

◆広がる友の輪

◆深まる生き方

- ❖ 知的好奇心を満たす「学びの場」・自己実現を目指す「自分さがしの場」・気の合う友を探す「仲間づくりの場」を提供しています。
- ❖ 地域社会との結びつきを大切に「地域協働講座」を設けています。
- ❖ 受講生の親睦・交流を大切にしています。
- ❖ 学習成果としての社会参加を応援しています。



このチラシを見て興味が湧いたら一講座試してみませんか？
次回秋の講座の募集は2014年7月中旬、このラックに案内のチラシを準備いたします。

募集期間は3月28日で終了しましたが、定員に満たない講座に関しては、4月中旬まで、申込みを受け付けますので、日程、受講料など詳しい情報は川崎市生涯学習プラザ内かわさき市民アカデミーまでお問い合わせ下さい。

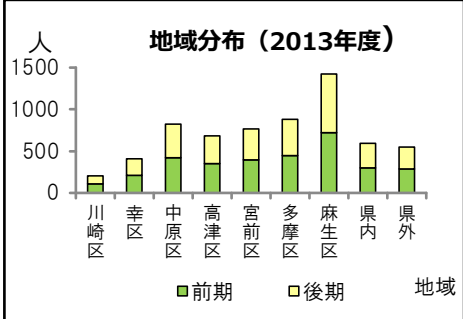
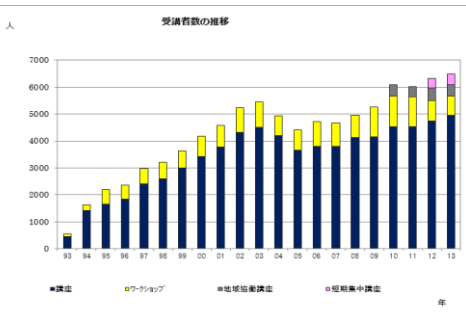
NPO法人かわさき市民アカデミーとは

市民によるアカデミー運営をめざして

かわさき市民アカデミー（以下「アカデミー」という）は、1993年秋の開学以来、（公財）川崎市生涯学習財団（以下「財団」という）が運営してきましたが、2007年4月に、市民・受講生が中心となってかわさき市民アカデミーの“市民による運営”を目指し、特定非営利活動法人（NPO法人）かわさき市民アカデミーが設立されました。

理念・目的は、川崎市及びその周辺の市民に対して、学習を通じて健康で生きがいのある、そして、創造性と個性豊かな地域社会をつくり、その発展・向上に寄与することです。

2011年4月からアカデミーの運営の主体が財団からNPOに移譲され、引き続き財団と協働で運営しています。



現在開講中（2014年前期）の講座内容

現在開講中の講座の一覧です。ここで示した講座以外に、人数を絞ってゼミ形式で専門的内容を先生と親しく議論或いは実技する15のワークショップがあり、すべての講座を合わせると49講座が開講中です。

1	美術Ⅰ	ジャポニスムと魅惑の美術—アール・ヌーヴォーとアール・デコ	東京大学教授 岡部昌幸ほか
2	自然(川崎学)	東てなき大田の森と水の世界	多摩川流域自然史研究会 横瀬和夫ほか
3	現代事情	メディアはこれからどうなる？	元朝日新聞説説委員 栗田秋治ほか
4	心理学	心の危機と心理学	立教大学名誉教授 福山清蔵ほか
5	エッセイ	鉄道の日本近現代史	立教大学教授 老川慶喜
6	国際関係	人権問題をどう国際的にチェックするか—人権の国際的保護の制度とその運用	青山学院大学教授 中 喜幸
7	いのちの科学	広がる生命科学の世界	早稲田大学名誉教授 木村利一ほか
8	日本の伝統芸能	伝統芸能を楽しむ「日本の芸能の原点とこれからを考える」	洗足学園音楽大学現代音楽研究所所長 森田直樹ほか
9	新しい科学の世界	新しい科学の世界	JAXA広報・普及主幹 阪本 成一ほか
10	日本史	平安時代再考	日本大学講師 鈴木 寛
11	みどり学Ⅰ	みどり学Ⅰ	樹木医 石井誠治ほか
12	文学	あのころからの日本文学—変化する世界の分かれ方	共同通信社編集委員 小山鉄郎
13	エッセイ	世界を旅する前スペイン・ツアー	東京外国語大学准教授 立石博高ほか
14	まち歩き(川崎学)	地域を究めるいまむかし	地域史研究家 長島 保、川崎市研究会会長 星野 仁
15	政治・社会	政治システムのあるべき姿を探る—日米史の比較から	北海道大学教授 山口二郎ほか
16	音楽Ⅱ	東京交響楽団の室内による音楽の楽しみ Part16	東京交響楽団メンバーほか
17	環境とみどり	持続可能な社会の創出	東京大学名誉教授 太田隆彦ほか
18	人間学	幸福とはなににか—あらためて生・老・病・死を問う	鎌倉女子大学教授 竹内整一ほか
19	音楽Ⅰ	楽園で聴くモーツァルトの生涯ささぎ	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏ほか
20	音楽Ⅱa	世界の音楽を楽しむ	国立音楽大学教授 横井雅子
21	世界史	アメリカ合衆国史Ⅰ—初期アメリカの政治史、社会、宗教、文化史	法政大学教授 中野静郎ほか
22	みどり学Ⅱ	みどり学Ⅱ	樹木医 石井誠治ほか
23	美術Ⅱ	西洋美術史のA・B・C	多摩美術大学教授 鎌川南樹
24	エッセイ	世界の宗教と現代のイスラーム	早稲田大学イスラーム地域研究機構助教授 湯川武ほか
25	経済	経済学の基礎理論を学ぶ—現実の経済をとおして	駒澤大学教授 瀬戸 祐
26	映画・メディア	テレビはどこに向かっているのか？	科学ジャーナリスト 小出五郎ほか
27	歴史(川崎学)	川崎学—歴史・川崎をつくらった人たち	明治大学講師 渡辺賢二ほか
101	文化	世界文化遺産「富士山」	東京大学名誉教授 藤井敏郎ほか
102	歴史	日本の対外戦争の経験に学ぶ	中央大学講師 加藤謙三ほか
A	まちづくり	川崎の美術館・博物館を10倍楽しむ法 パートⅡ	元川崎市日本民衆館館長 村田文夫ほか
B	福祉	傾聴ボランティア講座	NPO法人ホールファミリア協会 山田吉吉
C	大学連携	ひと味ちがう映画講座 <作品の上映 2回付き>	日本映画大学学長 佐藤忠男ほか
D	企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その8	市内企業の代表と研究者ほか
E	自分史	MY HISTORY—自分史をつくる	元NHK文庫教室講師 伊中悦子

開講中の講座を覗いてみよう（2014年4月～7月）

下記に紹介する講座のうち「日本の伝統芸能」、国際関係コースの講座とワークショップ、「ひとと味ちがう映画講座」「社会福祉ワークショップ」、「鉄道の日本近代史」、「人間学ワークショップ」、「広がる生命科学の世界」は定員に余裕があり4月中旬まで受講生の受け入れ可能ですので、遠慮なく連絡下さい。

日本の伝統芸能

「聴いて！見て！触って！」のテーマ
今年前期で2年の若い講座です。
アクセスの良い高津市民館で出会うことの少ない和楽器や伝統芸能を聞く（あまねく）学習体験しています。学校教育の中で取りこぼしてきた「伝統」を発見できます。
洗足音大の森重先生は「伝統」に支えられたものに「新しい可能性」を求めると言っておられます。ナマで聴く、音出し体験もでき、新進気鋭の演奏家の実演等、邦楽のレクチャーコンサートがアカデミーにあります。
至福の時間を共有しましょう。



まち歩き(川崎学) 地域を究める いまむかし

川崎のまちを一緒に歩いてみませんか？
川崎市中心とその周辺を歩きながら、川崎の地理・歴史・自然・文化を知り学びます。
郷土史の第一人者である長嶋先生と星野先生と一緒に歩き、心地よい汗を流しましょう。川崎を知りたいと言う方の参加お待ちします。



社会福祉ワークショップ

テーマ：高齢化社会を生きる
最後まで地域で安心して生活するために
火曜日、10:30～12:00（8回）（施設見学）
講師：結城 康博（淑徳大学教授）ほか
社会福祉ワークショップでは高齢者の問題に焦点を絞り、講師の話を聞きながら問題点の把握と解決方法について話し合っています。
今回のテーマは「最後まで地域で安心して生活するために」です。
「終活」を含めて地域のひとと繋がりがながら生きてゆくにはどうするかを共に考えてゆきましょう

人間学コース——講座とワークショップ（ゼミ）

昨年度後期は哲学者、医療関係者など多様な分野の専門家によって、ある時は古典を、ある時は医療の現場からの生のお話を聞くことで、生・老・病・死の意味について考えてきました。登壇いただいた講師の方々が我々の質問に時間をかけて丁寧に答えていただいたのに感謝しています。4月から始まる講座も前期同様多様な分野の専門家に登壇いただき、幸福とはなににかをテーマに議論をいただきます。先生方のお話を楽しみにしている受講生が多く、講座は今期は定員一杯になってしまいました。
ワークショップはいのちと折りの芸術—能の世界を味わっていくことになりま。ゼミ形式はわからないことはしっかりと質問できるので今から楽しみにしています。ワークショップはまだ、定員に空きがあるので、お申し込みは可能です。

広がる生命科学の世界

先期は毒と薬の関係、生命の起源と宇宙など多様なテーマでお話を聞きました。4月から始まる今期は前半で脳科学から見た眠りを取り上げ、中盤から後半にかけては生命倫理、後半は認知症ケア、動物との付き合い方など多彩なテーマを取り上げられています。
今期もすべてが聞き逃せない大変興味深い大きなテーマを取り上げています。まだまだ定員に枠がありますから、お申し込みは可能です。



鉄道の日本近現代史 立教大学教授 老川慶喜



今から180年以上前に誕生して以来、世の中に大きな影響を及ぼしてきた鉄道。日本では19世紀の後半に西欧から鉄道を導入、近代化を進めてきました。この講座では、前・後期をとおして、経済学者、歴史学者そして鉄道研究の第一人者でもある老川慶喜先生に、日本の鉄道の発展と社会の変容の歴史を、政治、経済、文化、観光、様々な視点から語っていただきます。

日本史コースのご紹介

毎回多くの応募者をもっている日本史コースでは、基本的に一期（半年）毎、古代、中世、近世、近現代という順に時代の様相を大きく捉える講義形式の講座（12回）と、さらにその時代のある局面を掘り下げてゼミ形式で学ぶワークショップ（6回）を展開しています。各時代の先人達の歩みを知ることは、今の社会事情を見直し、今後の生き方の指針を見出す一助ともなるものです。そのため各期のテーマ、講師の選定には、カリキュラム委員の先生と受講生の一人である世話人が協議し、質の高い楽しく興味あるものになるよう努めています。どうぞ、共に学び語り合う友の輪に参加してみませんか！

国際関係コース——講座とワークショップ（ゼミ）

世界各国の近現代史や政治、経済、社会の現状や将来展望などに理解を深めていくことが目的のコースです。普通は講座とワークショップは同じ講師の先生にやっていただいています。中国、韓国、米国、EUやインド、アフリカなどの他、核兵器や政治思想史などもテーマにして来ましたが、受講生はテーマにより毎回1／3ほど入れ替わります。
2014年前期は「国際的人権保障」後期は「戦後日本のアジア外交」がテーマです。
講師にたいする謝恩会と称して飲み会をやっていますが女性の参加者も多く賑やかです。また頻繁に受講生仲間での飲み会もやっており楽しい集まりになっています。

ひと味ちがう映画講座

<作品の上映2回付き>

① 6/18（水）18:30～16:30
「あなたが消えるどうして原亮」
25年前に福島第一原発に問題提起したドキュメンタリー映画
上映後に千葉茂樹監督の解説

② 6/25（水）18:30～17:00
「私の叔父さん」
連続三紀彦が直木賞を受賞した短篇小説を映画化。上映後に細野辰興監督が製作秘話を語る

③ 7/2（水）18:30～15:00
【講演】日本映画大学学長で映画評論家の佐藤忠男氏が「青い山脈」「ひめゆり塔」などの名匠・今井正監督を語る

